

大賞 松本宏之さんご家族

『小さな子どものいるエコ暮らし』

～松本家エコ実践部隊・メンバーそれぞれのエコな日常～

何かと消費が大きくなる小さな子どものいる家のエコな暮らしの実践例

【年間における4人世帯の平均CO₂排出量と比較すると、約1,844kgの削減】



- (パパ)・毎日往復6キロの通勤を雨風問わず、自転車です。
- (ママ)・夏は高層マンションの通風を利用し、開放してエアコン要らず。
・冬は、光のある間にカーテンを開けて熱をため、完全締め切り。
・買い物は空き瓶のリユースのある宅配業者から。ごみ減量に努める。
・ママ友らとエコママサークルを結成し、布おむつや女性用布ナプキンの啓発、食の地産地消、エネルギーの勉強などに取り組む。
- (お姉ちゃん)・夕方暗くなったらすぐご飯とお風呂。余計な照明と冷暖房器具を極力使わず早寝早起き。夜間は湯たんぽで快適な眠りを。
- (妹)・長時間の外出以外は布おむつを使用。紙おむつは通常一人2tとも言われるごみを排出するため、極力避ける。 など

ポイント

・何かと消費が大きくなりがち小さな子どもがいながらも、家族一人ひとりがエコな暮らしを実践し、大きな効果をあげている。

優秀賞 藤井 光雄さん

『ゴーヤーカーテンの三ヶ条』

2005年から7年間ゴーヤーカーテンの育成に挑戦



- うまく育つ3ヶ条を確立
 - ◆深いプランターとすだれで、土の乾きを防ぐ
 - ◆ネットは、10cm×10cmが適当
 - ◆土は、チップや馬糞等を混ぜて程良く腐敗させておく
- カーテンのおかげで、店のエアコンは休止 (CO₂削減効果20%)
- 採れた種等は、関心のある方に渡し、作り方を説明

～今までの受賞者（大賞のみ）～

<第1回> (平成20年度)

- 【企業部門】 ビジネスホテルアサヒ
- 【団体部門】 桜ヶ丘町内会
- 【家庭・個人部門】 森田勝博さん

<第2回> (平成21年度)

- 【企業部門】 株式会社パナソニック マーケティングスクール
- 【団体部門】 草津商工会議所
- 【家庭・個人部門】 小森武志さん

<第3回> (平成22年度)

- 企業部門【大賞】 ダイキン工業株式会社 滋賀製作所
- 団体部門【大賞】 草津市国際交流協会

発行：草津市環境課
TEL：077-561-2341(直通)
FAX：077-561-2479
Email：kankyo@city.kusatsu.lg.jp



詳しくはこちら <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/www/contents/1227597811993/index.html>

第4回 草津市 地球温暖化防止大賞

～受賞者紹介～

(平成23年度)

この賞は、市内で行われている優れた地球温暖化防止の取り組みを表彰することで、温暖化防止に向けた取り組みを地域に発信し、普及拡大させることを目的としています。

受賞内容を参考に地球温暖化防止に向けてみんなで取り組みましょう。

企業部門

大賞 ホテル ポストプラザ草津

『草津駅西口ポストスクエアを
「地球温暖化防止」への懸け橋とする』

■地球温暖化防止への取り組み

- ◆電力デマンドコントローラーによる電気(節電)の管理
- ◆照明をLEDへ【年間 111.77t-CO₂の削減】
新館の廊下・客室内はすべてLED
ロビー、レストラン内の白熱灯および水銀灯、既存棟の廊下もすべてLEDへ変更
- ◆電気自動車の充電器をお客様駐車場に設置
- ◆KENTPLAZAビルへ太陽光発電システムを設置し、自家発電【年間 7.47t-CO₂の削減】



■地産地消への取り組み

- ◆レストランでは、地元の食材を使用したメニューを提供
- ◆各客室においては、地元名産である「あおばな緑茶」1本を無料提供

ポイント

- ・多くの照明にLEDを取り入れたり、太陽光発電システムを設置し、大幅なCO₂削減効果をあげている。
- ・県外からの来客が多いという特性を活かし、レストランや客室で、地産地消への取り組みをしてPRを行っている。

団体部門



優秀賞 むかし美人カルテット プラスワン

『“琵琶湖の音色”で環境を学ぶ』
～「心をあつため、地球を冷やす」よし笛演奏を通して～

- 環境に関心を持ち、よし笛を愛好する有志5名で作るサークル
- 「よし笛演奏」「びわ湖学習」を通して、地球温暖化等による影響が心配される琵琶湖や自然の大切さを学び、啓発する活動を行う



- ◆主な活動場所・・・公民館、老人クラブ、地域サロン、児童館、病院、療養施設、老人ホームなど

優秀賞 近畿環境保全株式会社

『キンカン・エコ・アクション』

- 物流において発生する一部のCO₂排出量をオフセットし、温暖化防止対策へ
- お客様から回収した資源ごみを売却した収益の一部を寄付
 - ◆循環型社会創造研究所「えこら」を通じ、琵琶湖の環境保全に使われている「マザーレイク滋賀応援基金」へ寄付
 - ◆“あしなが育英会”を通じ、東日本大震災で親を亡くされた子ども達を支援しつつ、植林活動にも寄付
- さまざまな環境活動
 - ◆「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとして、ヨシ刈り活動に参加
 - ◆「森林づくりパートナー協定」を結び、森林のCO₂吸収率向上などに貢献
 - ◆毎年、琵琶湖の日に湖岸の美化活動を実施
 - ◆毎月一回、社内および近隣の清掃活動を実施



優秀賞 学誠舎

『学誠舎 エコチャレンジ2011』

- 「淡海チェリーキッズ～体験・環境学習クラブ～」(こどもエコクラブ)の運営・支援活動
 - ◆内部生だけでなく、家族や地域の方にも参加いただき、環境学習や体験学習を実施
 - ◆緑化の推進を実施し、取り組んだ活動をキッズが壁新聞にまとめ、草津市こども環境会議やこどもエコクラブへ応募
- ホームページの環境認証であるGSLに参加し、カーボンオフセット
- クールビズ・ウォームビズや待機電力の削減など、節電を実施
- 保護者へのアイドリングストップの呼びかけ



優秀賞 アメニティ南草津 X ルクセア

『管理組合によるマンション共用部の節電計画』

管理組合で環境問題を検討する中、特に節電計画は優先課題として具体的に検討し、効果を出すことが出来た実践例

- マンション玄関のエントランス電灯の間引き(2007年～)
【年間1,391kg-CO₂(4,730kWh)の削減】
- 通路・駐車場・階段における街灯の点灯時間の短縮(2009年～)
【年間 1,414kg-CO₂(4,809kWh)の削減】
 - ◆デイルイトやタイマーライトによる電灯点灯時間の短縮
 - ◆センサー位置の移動、センサー下部へのミラー取り付けによる作動改善
- 夜間用の庭園ポール、地中埋め込み電灯の間引き(2010年～)
【年間 266kg-CO₂(903kWh)の削減】

